

1億円産地を目指して!

えんだま(枝豆)産地育成計画

旧JAささかみ地区では、えんだま(枝豆)の作付面積を現在の18haから30haに拡大し、令和6年度に生産額1億円以上の園芸産地になることを目指しています。

また園芸支援事業(旧JAささかみ)として、栽培面積の拡大に対応できる「集出荷選別施設」が本年度7月から稼働しています。枝豆の搬入後、洗浄・脱水・選別・計量包装の一連の作業を機械化することで効率化を図り、作付面積の拡大を支援します。



☆ 栽培実証ほの紹介(枝豆) ~不織布による凍霜害の軽減~

本協議会では、1億円産地達成等に資するため、園芸の導入・拡大に挑戦する生産者から、「調査実証ほ」の取り組みをお願いしております。本号では、令和3年度の取り組みから枝豆をご紹介します。

① 調査内容

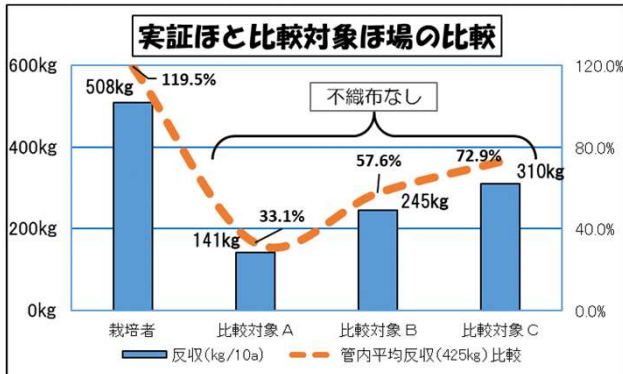
昨年は従来どおりの栽培方法で霜害を受けたため、新発田地域振興局との現地試験として、移植直後より不織布の被覆展張による凍霜害の軽減を調査することとした。

また不織布の効果を実証するため、同時期同品種の移植栽培を行った他3名のほ場の追跡調査を行い、実証ほとの比較を行った。

② 実証ほの栽培状況

4/7に移植作業を行い4回(4/11,12,15,27)の凍霜害に遭遇したが、枯死や育成停滞の被害は全体株の1割未満に留まった。

被害株には共通して「緩んだ不織布と株が接触した部分」に限られていたことから、株と不織布の間の空間に保温効果があることが実証できた。



栽培指針

上記のとおり、4/27以前の管内移植栽培では、凍霜害軽減対策として不織布の使用が有効であった。

★ 農業者の皆様へ ★

阿賀野市公式LINEに農業が追加されました。

生産・販売・支援といった農業経営に役立つ情報をタイムリーに配信します。

~新規登録される方~

スマートフォンで右の二次元コードをスキャンしてください。



~既に公式LINEに友達登録された方~

【登録方法】

- 〈1〉メニュー表示から、受信設定を選択
- 〈2〉お知らせ受信設定を選択
- 〈3〉農業を選択し、オンに設定する

★ JA・農林課・普及センターでは、さまざまな品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。ご興味がある方は下記までお問い合わせください。

- 【問い合わせ】
- JA新潟かがやき あがのアグリセンター(樋口・中島) TEL62-2235
 - JA新潟かがやき ささかみアグリセンター(石山) TEL25-7252
 - 阿賀野市農林課農林振興係(直通) TEL61-2478
 - 新発田農業普及指導センター(野菜) TEL0254-26-9126
 - 新発田農業普及指導センター(花・果樹) TEL0254-26-9155

気になる！『道の駅あがの』農産物直売所 第3弾

道の駅あがの 8月5日開業

『道の駅あがの』が令和4年8月5日（金）に開業します。それに先立ち、農産物直売所への出荷に関心のある農業者には、随時、現地見学受入・個別説明をいたします。特に、出荷用荷捌き室や農産物加工場に関しては、開業前が見やすいです。儲かる園芸の実現に向けて、『道の駅あがの』の活用をこの機会に考えてみませんか。



農産物出荷組合への入会申込は随時受付中

問い合わせ

「道の駅あがの」運営会社 (株)あがの ☎ 0250-25-7011



農業経営(販売)に役に立つデータをお届けします。

市内産農産物が集まり、かつ、市内外の方が多く来場する『道の駅あがの』で得られるデータを活用し、農業者の皆様へ農業経営、特に、販売に役立つ情報を配信します。

出荷・消費データの収集

データの分析・加工

情報の配信

情報の活用

道の駅あがの
(農産物直売所)



産直システム

何が、いつ、どれだけ売れたか

市
(農林課)



市公式 LINE
「農業」



9、10月は市内産きゅうり、人参の出荷量が少ないようなので、道の駅で販売してみようかな



農業者

農業者



11、12月は市内産大根、里芋の出荷量が多いので出荷時期を見直そうかな

道の駅の問い合わせ

阿賀野市役所 農林課 農林企画係

☎ 0250-61-2478

阿賀野市のホームページからもご覧いただけます！

阿賀野市 園芸情報

検索



もしくは、二次元コードを読み取ってください。

